



放送大学

単位互換案内

2022年度

大学設置基準が平成3年に一部改正され、個々の大学が特色ある教育を展開できるようになり、各大学・短期大学では時代の流れに沿った多彩な高等教育が展開されています。

放送大学教養学部では、全国の国・公・私立大学の教員の協力を得て約300科目の授業科目を開設し、多くの人々のさまざまなニーズに応えています。

また、平成14年から開設された放送大学大学院では、高度専門職業人養成のため、高度な専門的学識及び知的技能を修得できる授業科目を約100科目開設しています。

開設科目は数年ごとに改訂し、最新の学問成果を随時取り入れています。

本学の最大の特徴は、BSテレビ・ラジオ、インターネットを通して授業が行われることにあります。

BS放送による全国放送に加え、本学が設置している全国の学習センターの利用など、様々な学習形態が可能な側面を活かし、全国の多くの大学等において本学の単位互換制度が利用されています。

この冊子は、放送大学をよりよく知っていただき、貴学が学生に豊かなカリキュラムを提供するための一助となるよう編集したものです。

目次

1.放送大学の単位互換	1
2.単位互換の活用	2
3.単位互換協定締結までの流れ	5
4.履修方法等	8
5.さまざまな制度	10
6.データ集	12
7.Q&A	18
8.学習センターのご案内	20

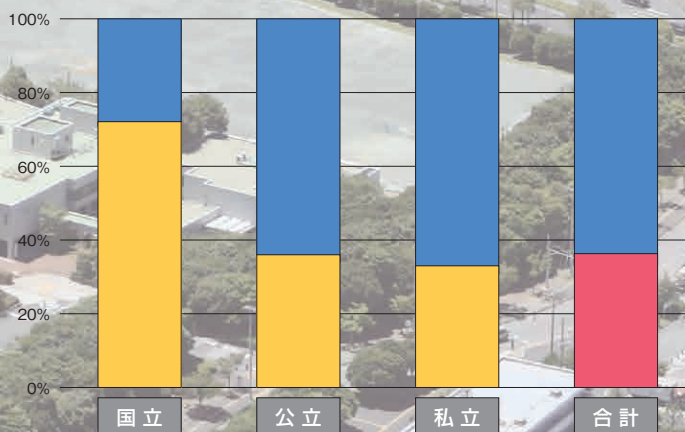
1. 放送大学の単位互換

放送大学は、「他大学との単位互換の推進により、わが国の大学教育の改善に資すること」を設置目的の一つに掲げています。

本学と単位互換協定を締結している大学及び短期大学は 406 大学あり、日本国内の全大学・短期大学の約 36%にのぼります。さらに 11 大学院、16 校の高等専門学校とも単位互換協定を締結しており（2021 年 11 月 1 日現在）、大学等から受け入れる学生数は年間で約 4,700 名（延べ約 10,000 科目）に達しています。

わが国の単位互換制度については、平成 30 年 11 月 26 日の第 119 回中央教育審議会総会で取りまとめられた「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」において「複数の大学等の人的・物的リソースを効率的に共有することで、一つの大学では成し得ない多様な教育プログラムを提供することができるよう、単位互換等の制度運用の改善を行うことも必要」と記載されたことを受けて、国から単位互換制度の運用に係る基本的な考え方が示されました。放送大学では、基本的な考え方に則り、単位互換を推進することによって、多様で柔軟な教育プログラムの編成（文理横断・学修の幅を広げる教育等）や大学の多様な「強み」の強化など、わが国の大学等の教育課程の充実に寄与していきます。

設置形態別大学・短期大学に占める協定校の割合



(2021年11月1日時点)

設置形態	国立	公立	私立	合計
全大学・短期大学数	86	111	921	1,118
放送大学単位互換協定締結大学数	62 (72.1%)	40 (36.0%)	304 (33.0%)	406 (36.3%)

※全大学・短期大学数は学校基本調査（令和2年度版）等による



2. 単位互換の活用

放送大学の授業はBSテレビ・ラジオ、インターネットを利用して行われており、全国57ヶ所の学習センター・サテライトスペースで視聴することもできるため、時間や場所の制約を受けずに学習することが可能です。そのため、貴学の授業日程を妨げずに履修することができます。

なお、放送教材の貸出制度を設けておりますので、貴学内の施設において視聴していただくことも可能です。

■ 受入方法

① 放送大学における学生の身分

貴学の学生を本学の「特別聴講学生」として受け入れます。

② 受入学生数

貴学との協議によって定めます。

③ 履修期間

本学での特別聴講学生の履修期間は1学期間（6か月）です。

④ 履修できる科目の範囲

本学で開設している放送授業及びオンライン授業の科目から選択していただけます。本学の開設科目は、基本的に4年で改訂もしくは閉講となります。2022年度の開設科目はP14以降をご覧ください。

⑤ 修得できる単位数

各設置基準により、単位互換で修得できる単位数は大学60単位、短期大学（2年制）30単位、高等専門学校60単位、大学院との単位互換では15単位を上限としています。その範囲で貴学との協議によって定めます。

⑥ 学 費

入学金：不徴収

授業料：学 部	1科目（2単位）	11,000円
	1科目（1単位）	5,500円
大学院	1科目（2単位）	22,000円

※授業形態には、BSテレビ・ラジオ、インターネット配信で講義を行う「放送授業」と、インターネットでのみ講義を行う「オンライン授業」があります。
「放送授業」は、全て1科目2単位です。

■ 活用事例

選択科目の拡大として活用

放送大学では、多様化する学生のニーズに対応するため、「生活と福祉」「心理と教育」「社会と産業」「人間と文化」「情報」「自然と環境」の6つのコースを設定し幅広い科目を開設しています。

例えば、工学系の大学であれば、社会系や人文系の科目など、開設の難しい分野の教養教育科目として活用されています。

外国語科目の充足として活用

放送大学では、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「韓国語」の6言語で、レベルの異なる延べ15の外国語科目を開設しています。

放送大学で開設している外国語科目（2022年度）

英語で「道」を語る（'21）／英語で読む大統領演説（'20）／看護・医療の英語（'19）／韓国語Ⅰ（'20）／韓国語Ⅱ（'20）／教養で読む英語（'19）／グローバル時代の英語（'22）／初歩のロシア語（'22）／中国語Ⅰ（'18）／中国語Ⅱ（'18）／ドイツ語Ⅰ（'19）／ドイツ語Ⅱ（'19）／ビートルズ de 英文法（'21）／フランス語Ⅰ（'18）／フランス語Ⅱ（'18）



リメディアル科目としての活用

推薦入試やAO入試など、必ずしも学力検査を課さない形態の入試が普及・拡大しつつあるなか、高等学校での学習分野が不足している学生に対し、多くの大学でリメディアル授業が実施されています。放送大学では、大学教育を受けるにあたって不足している基礎学力を補うことのできる科目を開設しています。

リメディアル科目として活用できる放送大学の科目(例)

初歩からの物理('22)／初歩からの生物学('18)／初歩からの化学('18)／初歩からの数学('18)／身近な統計('18)／ビートルズ de 英文法('21)／日本語リテラシー('21)／遠隔学習のためのパソコン活用('21) など

再履修科目として活用

放送大学の授業は、BSテレビ・ラジオの放送時間に視聴するだけでなく、インターネット配信などの複数の視聴方法があるため、所属大学の授業時間以外の時間を活用し、時間や場所の制約を受けず効率的に学習することが可能です。

教養科目・必修科目・資格関連科目の単位を修得できなかった学生の再履修科目としてぜひご利用ください。

通学に困難な事情がある学生の補助として活用

就職活動で都市圏に滞る場合や、部活動の遠征等、事情により所属校に一定期間通学ができない学生向けに、補完的な科目として利用されています。

JABEE対応科目として活用

放送大学で開設している「新しい時代の技術者倫理('15)」は、JABEE(日本技術者教育認定機構)対応科目として利用されています。

昼夜開講制・社会人コース向けの科目として活用

放送大学の授業はBSテレビ・ラジオを利用して行われ、授業の放送時間に視聴するほか、インターネットや、全国の学習センターなど、多岐にわたる視聴方法を利用することにより、個人の生活スタイルにあわせ時間の制約を受けずに学習することができます。また放送教材の貸出制度を利用し、貴学内の施設において視聴していただくことも可能です。

リカレント教育や生涯学習の重要性が増しているなかで、幅広い世代に向けて制作されている本学の科目が利用されています。

通信制大学のスクーリング科目として活用

放送大学の科目は、大学通信教育設置基準の規定により、放送授業科目(2単位)のうち1単位は面接授業(スクーリング)の単位として代替することが可能です。

大学院修士課程科目として活用

放送大学大学院文化科学研究科修士課程の授業は、学部と同様に、放送授業番組と印刷教材を中心に行われます。高度で実践的な専門知識と能力が求められる大学院においても、単位互換制度が活用されています。

■ 活用事例（各種資格取得科目として）

放送大学では、各種資格取得に必要な科目を開設しています。単位互換により、担当講師を配置することが困難な資格取得科目をご利用いただけます。また、貴学で対応科目を開設する場合でも、「必修科目と開設時間が重なっている」、「科目を開設しているキャンパスとは別のキャンパスで学んでいる」などの理由により、履修が困難な学生のため、貴学開設の科目との「併設科目」としてのご利用も可能です。詳しくは、放送大学ホームページをご覧ください。担当係までお問い合わせください。

学芸員

放送大学では、平成24年4月1日に施行された博物館法施行規則の改正に対応した『博物館に関する科目』のうち、「博物館実習」以外の科目を開設しています。

放送大学の科目を一部利用し、学芸員課程を設置している単位互換校もあります。

「博物館に関する科目」	必要単位	放送大学対応科目	単位数
生涯学習概論	2	生涯学習を考える('17)※	2
博物館概論	2	博物館概論('19)	2
博物館経営論	2	博物館経営論('19)	2
博物館資料論	2	博物館資料論('18)※	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論('19)	2
博物館展示論	2	博物館展示論('16)	2
博物館教育論	2	博物館教育論('22)	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論('18)	2
博物館実習	3		

※「生涯学習を考える('17)」「博物館資料論('18)」はオンライン授業科目です。

成績評価：通信指導、単位認定試験および再試験は行いません。

成績評価は、「授業科目案内」等をご確認ください。

受講方法：9ページを参照ください。

教員免許

放送大学では、免許法施行規則第66条の6の「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」に対応する科目を開設しています。

社会教育主事

放送大学では、社会教育法に定める社会教育に関する科目に相当する科目の一部を開設しています。

社会福祉主事任用資格

社会福祉主事任用資格は、指定科目を3科目以上修得し、大学を卒業することで得られます。

放送大学では、社会福祉主事任用資格の対応科目を開設しています。

また、社会福祉主事任用資格の対応科目を開設していない大学におかれましても、放送大学の対応科目を3科目以上受講することで取得できる資格です。

※貴学での単位認定の際、放送大学の科目名称をそのまま利用していただく必要があります。

学校司書のモデルカリキュラム

放送大学では、文部科学省の「学校司書のモデルカリキュラム」に定める10科目のうち4科目に対応する科目を開設しています。



3. 単位互換協定締結までの流れ

STEP 1

貴学内において本学との単位互換協定についてご検討ください。

【主な検討事項（例）】

- ・ 単位互換に関する諸規程（学則等）の確認
- ・ 履修予定科目及びその科目の貴学カリキュラム上の位置づけ
- ・ 授業料の負担方法 等

履修希望者の予備調査などにより貴学学生のニーズを事前に把握いただき、協定が有意義なものとなるようご配慮願います。



STEP 2

単位互換を実施するための諸課題について、大学間で協議を行い、「事前確認事項（次ページ）」を作成いただきます。

※「事前確認事項」の様式（Excel データ）を本学よりお渡ししますので、お問い合わせください。

【主な協議・確認事項（例）】

- ・ 履修できる授業科目の範囲
- ・ 放送大学が受け入れる学生数（履修予定者数）
- ・ 修得できる単位数
- ・ 視聴方法（視聴施設・設備の概要）
- ・ 「協定書」「覚書」の成文化



STEP 3

貴学において、放送大学との単位互換協定締結について、教授会等で了承を得るなど、学内決定を完了していただきます。

放送大学でも、教授会等で了承を得るなど、学内手続きを進めます。



STEP 4

貴学と本学との間で「協定書」「覚書」に調印します（単位互換協定締結）。



STEP 5

貴学での特別聴講学生募集。

* 貴学と本学との間で協議を開始してから協定締結を経て放送授業及びオンライン授業の受講を開始するまでの平均的な所要期間は3ヵ月～半年です。

単位互換実施 事前確認事項 (記入例)

学校名	幕張大学	
設置形態	私立	①
設置場所 (都道府県)	千葉県	
開設学部・学科 (入学定員)	工学部 (100) 文学部 (100) 法学部 (100) 合計 (300)	
利用学部・学科 (履修予定者数)	工学部 (20) 文学部 (20) 合計 (40)	②
履修可能単位数	10 単位以内 ③	
履修できる授業科目の範囲	放送授業科目のすべてを履修可能とする	④
カリキュラム上の位置づけ	本学が指定する放送大学の科目の中から 10 単位までを基礎教育科目として認定する	⑤
履修開始時期	2022年度第1学期	
授業料の負担方法	大学負担	⑥
放送授業の視聴方法	集団視聴	⑦
再試験の可否	可	⑧
双方向単位互換の実施有無	無	
(双方向単位互換を実施する際の人数上限 / 上限単位数)	無	
協定締結承認予定会議・日	教授会	2022.1.11 ⑨
貴学HPを放送大学HPからリンクすることの可否	可	⑩
調印式の実施希望有無	有	

① 国立 (大学法人)・公立 (大学法人)・私立の別にご記入ください。

② 放送大学と単位互換を行う学部 (学科) と、およその予定人数をご記入ください。

③ 貴学において履修可能な放送大学科目の単位数についてご記入ください。
なお、差し支えなければ貴学において他大学の科目の取得可能単位数が定められている規定 (学則等) を送付願います。

④ ・放送授業科目及びオンライン授業科目すべてを履修可能とするのか
・放送授業科目及びオンライン授業科目のうち大学で指定した科目について履修可能とするのか
(指定の内容についても差し支えない範囲でご記入ください) についてご記入ください。

⑤ 貴学のカリキュラムにおいて、放送大学の科目をどのように位置づけるのかについてご記入ください。
・認定する科目区分 (〇〇学部専門科目、教養科目など)
・必修科目もしくは選択科目

⑥ 本学の授業料の負担方法についてお答えください。
・学生の全額負担
・大学の全額負担
・大学の半額負担
・大学の条件付き負担 (単位を修得すれば学生に返金) 等

⑦ 学生が学習する際の放送授業の視聴方法についてお答えください。
・学生個人で視聴させる
・大学内で時間を決めて視聴させる 等

⑧ 本学では、次学期に限り単位認定試験の再試験を認めておりますが、貴学において再試験の可否を選択することが可能です。

⑨ 単位互換協定の締結について最終的に決定される貴学の会議と、その予定日についてご記入ください。
予定の場合は、確定後改めてご連絡ください。

⑩ 単位互換協定締結後、「単位互換協定締結校」として本学ホームページより貴学ホームページへリンクさせていただきたいと考えております。差し支えなければ許可をいただきたく、よろしく願います。



〇〇大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書（例）

〇〇大学及び放送大学は、双方の大学の規則に定めるところにより、両大学の学生が、それぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めることとし、次の事項について合意に達したので、ここに協定書を取り交わす。

（受入れ）

第1条 放送大学に在籍する学生が、〇〇大学の授業科目の履修及び単位の修得を希望するときは、〇〇大学長は当該学生を受け入れることができる。

2 〇〇大学に在籍する学生が、放送大学の授業科目の履修及び単位の修得を希望するときは、放送大学長は当該学生を受け入れることができる。

（特別聴講学生）

第2条 両大学は、前条により受け入れた学生を「特別聴講学生」として取り扱う。

（履修期間）

第3条 特別聴講学生の履修期間は、両大学とも1学期間ごととする。

（授業科目の範囲及び単位数）

第4条 履修できる授業科目の範囲及び修得できる単位数は、別に定める。

（学生数）

第5条 両大学の受け入れる学生数は、別に定める。

（受入れ手続）

第6条 特別聴講学生の受入れ手続は、別に定める。

（単位の授与等）

第7条 特別聴講学生の履修方法、単位の授与等については、受入れ大学の学生の場合と同様とする。

（授業料等）

第8条 〇〇大学においては、特別聴講学生の授業料は、〇〇大学〇〇〇〇規程に定める額とする。ただし、選考料及び入学料は徴収しない。

2 放送大学においては、特別聴講学生の授業料は、放送大学学則に定める額とし、入学料は徴収しない。

年 月 日

〇 〇 大 学 長

放 送 大 学 長

〇〇大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書についての覚書（例）

協定書作成の際、さらに下記の内容が合意に達したので、実施に当たって留意する。

記

- 1 受入れ学生数
放送大学が受入れる学生は、〇〇人程度とする。
- 2 履修できる授業科目の範囲及び修得できる単位数
 - (1) 履修できる授業科目の範囲
〇〇大学学生が履修できる授業科目は、放送大学で開講するすべての放送及び印刷教材による授業、又はオンライン授業科目のうち、〇〇大学において認めたものとする。
 - (2) 修得できる単位数
〇〇大学学生が、当該学生の在学期間を通じて修得できる単位数は、〇〇単位以内とする。
- 3 出願の手続及び受入れ予定学生の決定
出願の手続及び受入れ予定学生の決定については、次に掲げる要領により取り扱う。
 - (1) 放送大学に特別聴講学生として出願を希望する者は、定められた期日までに出願票及び所定の書類を〇〇大学長を経て放送大学長に提出するものとする。
 - (2) 放送大学長は、前号により希望した者のうちから選考し、受入れ予定学生を決定する。
 - (3) 放送大学長は、前号で決定した学生の氏名を〇〇大学長に通知する。
- 4 受入れの許可
 - (1) 前項第2号により受入れ予定学生と決定した者は、放送大学学則に定める手続を行う。
 - (2) 放送大学長は、前号の手続を完了した者に対し特別聴講学生として受入れを許可する。
 - (3) 放送大学長は、前号で許可した学生の氏名を〇〇大学長に通知する。
- 5 通信指導の再提出及び再試験
放送大学長は、特別聴講学生が放送大学において履修する授業科目の通信指導の再提出及び再試験の受験を、各1回認める。
- 6 成績評価及び単位授与の方法
特別聴講学生が放送大学において履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、放送大学学則の定めるところによる。
- 7 単位認定試験の実施方法
〇〇大学を会場として単位認定試験を実施するに際しては、「放送大学単位認定試験実施要領」に則って行うこととする。
- 8 放送大学は、特別聴講学生が履修に必要な施設・設備の利用については、便宜を供与する。
- 9 この覚書に定めるもののほか、本協定の運営に関し必要な事項は、両大学長間の協議により定める。

年 月 日

〇 〇 大 学 長

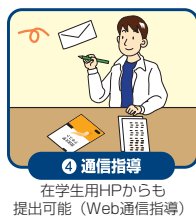
放 送 大 学 長



4. 履修方法等

■ 単位修得までの流れ

BSテレビ・ラジオ、インターネット配信で映像・音声の視聴による放送教材及び印刷教材(テキスト)による学習をあわせて行う「放送授業」と、インターネットのみで実施する「オンライン授業」があります。



オンライン授業は異なる部分があります。

■ 出願手続

- ①年間を2学期(第1学期-4月~9月、第2学期-10月~3月)に分けていますので、出願受付も学期ごとに行います。放送大学より送付する資料をご利用いただくなどして貴学にて募集をしていただきます。
- ②貴学において「特別聴講学生用出願票」をとりまとめていただき、貴学長から本学長あてに一括して提出していただきます。
- ③本学では、受け入れ予定の学生を確定し、本人と貴学長宛に通知します。
- ④所定の入学手続きを完了した者に、入学を許可し、本人と貴学長宛に通知します。(③の学生本人宛、③④の貴学長宛の各通知に関しましては、授業料の支払い方法(個人支払・学校一括支払)の別により通知内容が異なります。)

■ 放送授業

すべて印刷教材(テキスト)が用意されており、放送教材を視聴することと印刷教材による学習をあわせて進めます。

放送授業には、テレビ科目とラジオ科目があり、いずれの科目も1回45分の講義が15回で、学期ごとに完結します。視聴方法は、放送、インターネット配信、学習センター、所属大学等における視聴等があります。

※一部インターネット配信限定で視聴する科目があります。

原則として毎週同一の曜日・時間帯(週1回・1回45分)にBSテレビ・ラジオで放送します。(インターネット配信は、次ページ参照。)

● 通信指導

授業の一部として、各学期途中で1回一定の範囲で出題されます。郵送またはインターネット(対応科目に限る)で答案を大学に提出し、添削結果により単位認定試験の受験資格を得ることができます。(通信指導未提出または不合格の場合は、単位認定試験を受けることができません。)

※放送授業の一部の科目は、通信指導の提出がWebに限定されております。そのため、これらの科目については、通信指導問題の冊子での送付、受付はしていません。

● 単位認定試験

単位認定試験は、各学期の放送授業が終了した後、特定の期間内に一斉に実施します。単位認定試験の時間割は冊子「授業科目案内」に掲載されていますので、科目登録の際に参考してください。単位認定試験の実施方法については、連携協力係までお問い合わせください。

■ オンライン授業

オンライン授業は、インターネット上で講義を視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。成績評価については、一部の単位認定試験実施科目を除き、学習状況が良好で、かつ課題に解答し、学習成果が認められた者に所定の単位が与えられます。オンライン授業の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。また、授業の実施方法は科目により異なります。

■ 成績通知

本人と貴学長宛に学期末(第1学期は8月下旬、第2学期は2月下旬)に「成績通知書」によって通知します。

なお、成績評価は、ⒶABC(合格)DE(不合格)の評語によって行います。成績通知に基づき、貴学での単位として認定していただきます。

■ 2022年度の主なスケジュール(予定)

	第1学期	第2学期
出願期間	1月中旬~2月末 最終締切 ^{*1} (枠入学:4月上旬締切)	7月中旬~8月末 最終締切 ^{*1} (枠入学:10月上旬締切)
授業期間	4月1日~7月14日	10月1日~1月20日
通信指導提出期限	5月28日	11月30日
単位認定試験期間	7月15日~7月26日 ^{*2}	1月17日~1月25日 ^{*2}

※1 通常出願では、2月上旬/8月上旬に一度締切りを設けていますが、条件付きで2月末/8月末まで出願を受け付けます。

※2 単位認定試験の試験日・時限の重複する科目は受講できません。

※ 新型コロナウイルス感染症をめぐり国内状況に鑑み、試験の実施方法及び期間は変更の可能性があります。

■ 放送授業の視聴方法

放送授業は下記の方法で視聴することができます。時間や場所にしばられない履修が可能です。

B S 放 送

BS放送で放送授業を視聴できます。

アンテナやBSチューナーなどの視聴環境を整えれば、授業番組の視聴には費用はかかりません。

テレビ **232ch** ラジオ **531ch**

ケーブルテレビ

放送大学の番組を放送しているケーブルテレビに加入されますと、アンテナ等をご用意いただくなくても視聴できます。視聴方法等については、お近くのケーブルテレビにお問い合わせください。

インターネット配信

放送大学特別聴講学生の方は、パソコンやスマートフォンなどで、開設期間中の放送授業の原則すべてをいつでも視聴できます*。ただし、ストリーミング配信ですので、パソコン等に映像や音声を保存することはできません。

※詳しくは、本学ホームページの「番組表」の「放送番組の視聴方法」を確認してください。

インターネットラジオ radiko.jp

ラジオ科目をパソコン、スマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」（ラジコ）もご利用いただけます。詳しくは、<http://radiko.jp/> をご覧ください。

学 習 セ ン タ ー

放送大学には全国に57の学習センターがあり、放送授業の視聴や印刷教材の閲覧が可能です。特別聴講学生の方も、放送授業の視聴など自由に利用することができます。

※P20の「学習センターのご案内」をご参照ください。

貴 学 で の 視 聴

単位互換協定締結校には放送教材（DVD・CD）の貸出制度があります。この制度を利用して貴学内の特定場所（図書館など）で放送教材を管理していただき、貴学授業の空き時間などに自由に視聴していただくこともできます。

また、貸出放送教材により貴学内の教室等で集団視聴を実施していただくことも可能です。

■ オンライン授業について

オンライン授業とは？

インターネットに接続されたパソコンなどを使い受講します。講義を視聴し課題（選択式問題、レポート、ディスカッション等）に取り組みます。課題を提出することで成績評価を行うため、通信指導や学習センターで行う単位認定試験はありません（一部科目は単位認定試験を行います）。自宅や職場などインターネット環境があれば場所や時間に縛られることなく自分のペースで学ぶことができます。

この他、オンライン授業の操作方法・学習方法は、オンライン授業体験版をご覧ください。

<https://online-open.ouj.ac.jp/>

※詳細は、冊子の『授業科目案内』または本学ホームページ「オンライン授業」をご参照ください。

受 講 可 能 期 間

第1学期は4月初旬から8月末頃まで、第2学期は10月初旬から2月末頃まで閲覧可能ですが、課題の提出期限等は各科目異なりますのでご注意ください。

映像等による講義



伝送媒体 ネットワーク機器から構成された

オンライン授業体験科目

選択式問題やレポート提出等の学習活動



5. さまざまな制度

放送大学との単位互換をよりよくご活用いただくために、通常の単位互換制度の内容を一部変更したいくつかの特別制度を設けております。各制度を組み合わせたご利用も可能です。制度の利用にあたっては、通常の出願とは別に事前の手続きなどが必要となります。制度の詳細につきましては、担当係へお問い合わせください。

(なお、これらの特別制度につきましては、学期ごとに利用の有無を照会させていただきます。)

① 枠入学制度 — 学期開始後でも出願・入学が可能 —

概要

放送大学における特別聴講学生の出願期間中（1 学期 / 2 月上旬・2 学期 / 8 月上旬）に受講者を確定できない場合、通常の出願期間内に貴学から事前申請を行うことにより、一定数の入学予定者枠を確保しておき、学期開始後（1 学期 / 4 月上旬・2 学期 / 10 月上旬）に受講者を確定し、出願・入学することができる制度です。

事前の貴学からの申請により学習に必要な印刷教材・貸出用放送教材を学期開始までに送付することで、スムーズに学習を開始することが可能です。

活用例

- 新入生を集团で履修させる場合（1 年次 1 学期での利用）
- 再履修科目として利用（前学期の貴学での成績発表後に放送大学科目の履修決定ができ、次学期に再履修科目の履修が可能となる）

② 放送大学科目の再試験制度 — 翌学期に無料で再試験の受験が可能 —

概要

履修学期に単位認定試験を受験できなかった、あるいは受験したが合格できなかったという場合に翌学期に無料で再試験を受験することができます。

利点

- 翌学期に出願は必要なく、再試験だけ受験することも可能です。
- 貴学のご判断で、自校の学生には再試験を受験させない（再試験不可）とすることも可能です。



③教育協力型単位互換制度 —放送大学の授業科目を組織的に利用いただくために—

教育協力型単位互換とは、放送大学の授業科目について、履修上の位置づけを行い、放送大学との単位互換について組織的に取り組んでいただける大学等に対して、その取り組み内容に応じ、「教育協力費」をお支払いするものです。

単位互換協定を締結いただいている大学等で下記の実施要件を満たし、教育協力型単位互換を実施希望の大学等はお問い合わせください。

例えばこのような利用方法をお考えの大学等に適しています。

- ・学芸員養成課程の博物館に関する科目の一部に放送大学科目を利用し、継続的に毎年20名以上の入学者が見込める場合。
- ・JABEE対応科目「技術者倫理」に放送大学科目を利用し、継続的に毎年100名以上の科目登録が見込める場合。
- ・教養科目の一部に放送大学科目を利用し、貴学の教育課程内に放送大学科目を1科目以上修得することと位置づけている場合。など

教育協力業務の内容

以下の1～3を要件としております。

1. 放送大学の授業科目について、履修上の位置づけを行うこと。
2. 放送大学の科目登録者数が年間で延べ100名以上の見込みがある、又は、入学者数が年間で20名以上の見込みがあること。(2学期から開始する場合、1学期間(10月～翌3月))
3. 以下の(1)～(5)の業務を実施すること。

2021.11.1 現在

(1) 出願その他履修のために必要な業務^{*1}

放送大学との連絡窓口の設置、放送大学科目の履修ガイダンスの実施、出願書類や通信指導のとりまとめ、授業料の一括納付を行っていただきます。

また、放送大学から、登録された科目のDVD・CDを貸し出しますので、集団で視聴できる環境を確保いただき、単位認定試験までに計画的に視聴を実施していただきます。

(2) 単位認定試験の実施^{*2}

単位認定試験について、学生が各自で受験するのに十分な情報の提供やフォローをしていただきます。

(3) TA等(教育補助職員)の配置

放送大学の授業科目を履修する学生に対する学習支援、学習相談の窓口となること等、受講生をサポートするための教育補助職員を配置していただきます。

(4) 担当教員の配置

放送大学の授業科目の選定や、学生の学習指導等に対応できる教員を配置していただきます。

(5) 授業評価の実施

放送大学が用意する授業評価調査票を受講した学生に記入してもらい、その結果を取りまとめ、機関としての評価を行っていただきます。

※1 出願時にご提出いただく「出願総括票」の機関名には「〇〇大学(教育協力型)」のように、当制度の対象であることを明記していただきます。

※2 オンライン授業科目を教育協力型単位互換にて活用する場合は、一部科目を除き単位認定試験が行われないため、上記(2)の業務の実施は免除とする代わりに、オンライン授業の履修に十分な学習環境を学校にて確保していただきます。

実施スケジュール

基本的には放送大学との通常の単位互換と同様のスケジュールで行いますが、教育協力型単位互換を実施するための特別な業務(契約締結業務、授業評価等)を行っていただく必要があります。



6. データ集

■ 単位互換協定締結校一覧

○大 学 (314校)

北海道 (10)	旭川医科大学 帯広畜産大学 北見工業大学 北海道教育大学 札幌市立大学 札幌国際大学 函館大学 北海学園大学 北海道情報大学 酪農学園大学	埼玉県 (28)	ものつくり大学 千葉大学 千葉県立保健医療大学 愛国学園大学 植草学園大学 江戸川大学 開智国際大学 川村学園女子大学 神田外語大学 敬愛大学 国際医療福祉大学 国際武道大学 三育学院大学 秀明大学 淑徳大学 城西国際大学 聖徳大学 清和大学 千葉科学大学 千葉経済大学 千葉工業大学 千葉商科大学 中央学院大学 東京基督教大学 東京情報大学 東京成徳大学 麗澤大学 和洋女子大学 明海大学	新潟県	長岡造形大学 敬和学園大学 新潟リハビリテーション大学
青森県 (3)	弘前大学 八戸学院大学 青森大学	東京都 (28)	東京医科歯科大学 東京農工大学 東京海洋大学 電気通信大学 桜美林大学 嘉悦大学 北里大学 産業能率大学 実践女子大学 順天堂大学 創価大学 大東文化大学 多摩大学 帝京大学 帝京科学大学 帝京平成大学 東京音楽大学 東京家政大学 東京工科大学 東京聖栄大学 東京電機大学 東京未来大学 東洋学園大学 東洋大学 二松学舎大学 日本女子大学 文化学園大学 武蔵野大学	富山県 (3)	富山県立大学 高岡法科大学 富山大学
岩手県 (2)	岩手大学 盛岡大学	神奈川県 (14)	横浜国立大学 麻布大学 神奈川工科大学 湘南工科大学 洗足学園音楽大学 鶴見大学 田園調布学園大学 桐蔭横浜大学 東海大学 東京工芸大学 松蔭大学 フェリス学院大学 文教大学 横浜商科大学	石川県 (11)	金沢大学 石川県立大学 石川県立看護大学 金沢美術工芸大学 金沢医科大学 金沢学院大学 金沢工業大学 金沢星稜大学 金城大学 北陸大学 北陸学院大学
宮城県 (14)	東北大学 宮城教育大学 宮城大学 石巻専修大学 尚絅学院大学 仙台大学 仙台白百合女子大学 東北学院大学 東北工業大学 東北生活文化大学 東北福祉大学 東北文化学園大学 東北医科薬科大学 宮城学院女子大学	新潟県 (6)	新潟大学 上越教育大学 新潟県立大学	福井県 (3)	福井大学 福井県立大学 福井医療大学
秋田県 (2)	秋田大学 秋田県立大学	山形県 (6)	山形大学 山形県立保健医療大学 山形県立米沢米養大学 東北芸術工科大学 東北公益文科大学 東北文教大学	山梨県 (3)	山梨大学 健康科学大学 山梨学院大学
山形県 (6)	山形大学 山形県立保健医療大学 山形県立米沢米養大学 東北芸術工科大学 東北公益文科大学 東北文教大学	福島県 (8)	福島大学 会津大学 福島県立医科大学 医療創生大学 郡山女子大学 東日本国際大学 福島学院大学 日本大学工学部	長野県 (5)	信州大学 公立諏訪東京理科大学 長野県看護大学 清泉女学院大学 松本大学
福島県 (8)	福島大学 会津大学 福島県立医科大学 医療創生大学 郡山女子大学 東日本国際大学 福島学院大学 日本大学工学部	茨城県 (4)	茨城大学 筑波技術大学 筑波学院大学 茨城キリスト教大学	岐阜県 (12)	岐阜大学 岐阜県立看護大学 岐阜薬科大学 朝日大学 岐阜医療科学大学 岐阜協立大学 岐阜女子大学 岐阜聖徳学園大学 中京学院大学 中部学院大学 東海学院大学 岐阜保健大学
茨城県 (4)	茨城大学 筑波技術大学 筑波学院大学 茨城キリスト教大学	栃木県 (8)	宇都宮大学 足利大学 宇都宮共和大学 作新学院大学 自治医科大学 獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学	静岡県 (4)	静岡大学 浜松医科大学 静岡産業大学 聖隷クリストファー大学
栃木県 (8)	宇都宮大学 足利大学 宇都宮共和大学 作新学院大学 自治医科大学 獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学	群馬県 (5)	群馬大学 群馬県立女子大学 関東学園大学 共愛学園前橋国際大学 上武大学	愛知県 (7)	愛知大学 愛知淑徳大学 愛知みずほ大学 東海学園大学 豊田工業大学 名古屋商科大学 名古屋芸術大学
群馬県 (5)	群馬大学 群馬県立女子大学 関東学園大学 共愛学園前橋国際大学 上武大学	埼玉県 (12)	埼玉大学 埼玉県立大学 共栄大学 埼玉学園大学 十文字学園女子大学 聖学院大学 西武文理大学 獨協大学 人間総合科学大学 文京学院大学 目白大学	三重県 (3)	三重大学 鈴鹿医療科学大学 鈴鹿大学
埼玉県 (12)	埼玉大学 埼玉県立大学 共栄大学 埼玉学園大学 十文字学園女子大学 聖学院大学 西武文理大学 獨協大学 人間総合科学大学 文京学院大学 目白大学	神奈川県 (14)	横浜国立大学 麻布大学 神奈川工科大学 湘南工科大学 洗足学園音楽大学 鶴見大学 田園調布学園大学 桐蔭横浜大学 東海大学 東京工芸大学 松蔭大学 フェリス学院大学 文教大学 横浜商科大学	滋賀県 (3)	滋賀大学 滋賀医科大学 聖泉大学
滋賀県 (3)	滋賀大学 滋賀医科大学 聖泉大学	東京都 (28)	東京医科歯科大学 東京農工大学 東京海洋大学 電気通信大学 桜美林大学 嘉悦大学 北里大学 産業能率大学 実践女子大学 順天堂大学 創価大学 大東文化大学 多摩大学 帝京大学 帝京科学大学 帝京平成大学 東京音楽大学 東京家政大学 東京工科大学 東京聖栄大学 東京電機大学 東京未来大学 東洋学園大学 東洋大学 二松学舎大学 日本女子大学 文化学園大学 武蔵野大学	京都府 (9)	京都女子大学 京都美術工芸大学 京都ノートルダム女子大学 同志社女子大学 佛教大学 立命館大学 龍谷大学 嵯峨美術大学 京都先端科学大学
京都府 (9)	京都女子大学 京都美術工芸大学 京都ノートルダム女子大学 同志社女子大学 佛教大学 立命館大学 龍谷大学 嵯峨美術大学 京都先端科学大学	大阪府 (8)	大阪大学 大阪教育大学 追手門学院大学 大阪学院大学 大阪産業大学 関西福祉科学大学 森ノ宮医療大学 太成学院大学	大阪府 (8)	大阪大学 大阪教育大学 追手門学院大学 大阪学院大学 大阪産業大学 関西福祉科学大学 森ノ宮医療大学 太成学院大学

兵 庫 県 (4)	兵庫教育大学 神戸大学 大手前大学 兵庫大学	大 分 県	別府大学 立命館アジア太平洋大学 大分県立看護科学大学	岐 阜 県	平成医療短期大学 中京学院大学短期大学部
奈 良 県 (6)	奈良教育大学 奈良女子大学 畿央大学 奈良学園大学 奈良大学 帝塚山大学	宮 崎 県 (7)	宮崎大学 宮崎県立看護大学 宮崎公立大学 九州保健福祉大学 南九州大学 宮崎国際大学 宮崎産業経営大学	愛 知 県 (3)	愛知産業大学短期大学 愛知みずほ大学短期大学部 至学館大学短期大学部
和歌山県(1)	和歌山大学	鹿 児 島 県 (5)	鹿児島大学 鹿屋体育大学 鹿児島純心女子大学 志學館大学 鹿児島国際大学	京 都 府 (2)	京都文教短期大学 嵯峨美術短期大学
鳥 取 県 (2)	鳥取大学 鳥取環境大学	沖 縄 県 (4)	琉球大学 名城大学 沖縄国際大学 沖縄大学	大 阪 府 (1)	大阪千代田短期大学
島 根 県 (2)	島根大学 島根県立大学	○短期大学 (92校)		兵 庫 県 (4)	甲子園短期大学 神戸女子短期大学 神戸教育短期大学 兵庫大学短期大学部
岡 山 県 (6)	岡山大学 岡山理科大学 川崎医療福祉大学 吉備国際大学 倉敷芸術科学大学 美作大学	北 海 道 (4)	釧路短期大学 札幌国際大学短期大学部 北翔大学短期大学部 北海道科学大学短期大学部	奈 良 県 (1)	奈良佐保短期大学
広 島 県 (16)	広島大学 県立広島大学 広島市立大学 広島工業大学 広島国際大学 広島文教大学 安田女子大学 エリザベト音楽大学 近畿大学工学部 比治山大学 広島経済大学 広島国際学院大学 広島修道大学 広島女学院大学 広島文化学園大学 広島都市学園大学	青 森 県 (1)	青森明の星短期大学	鳥 取 県 (1)	鳥取短期大学
山 口 県 (3)	山口大学 宇部フロンティア大学 徳山大学	宮 城 県 (2)	聖和学園短期大学 東北生活文化大学短期大学部	岡 山 県 (2)	中国短期大学 美作大学短期大学部
徳 島 県 (2)	徳島大学 鳴門教育大学	山 形 県 (3)	山形県立米沢女子短期大学 羽陽学園短期大学 東北文教大学短期大学部	広 島 県 (4)	安田女子短期大学 山陽女子短期大学 比治山大学短期大学部 広島文化学園短期大学
香 川 県 (5)	香川大学 香川県立保健医療大学 四国学院大学 高松大学 徳島文理大学(香川キャンパス)	福 島 県 (5)	会津大学短期大学部 いわき短期大学 郡山女子大学短期大学部 桜の聖母短期大学 福島学院大学短期大学部	愛 媛 県 (3)	松山東雲短期大学 松山短期大学 聖力タリナ大学短期大学部
愛 媛 県 (5)	愛媛大学 愛媛県立医療技術大学 松山東雲女子大学 松山大学 聖力タリナ大学	栃 木 県 (6)	足利短期大学 宇都宮短期大学 宇都宮文星短期大学 國學院大學栃木短期大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野日本大学短期大学	高 知 県 (1)	高知学園短期大学
高 知 県 (3)	高知大学 高知県立大学 高知工科大学	群 馬 県 (1)	新島学園短期大学	福 岡 県 (2)	九州女子短期大学
福 岡 県 (8)	福岡教育大学 九州大学 福岡県立大学 福岡女子大学 九州共立大学 九州産業大学 九州女子大学 福岡工業大学	埼 玉 県 (1)	国際学院埼玉短期大学	佐 賀 県 (3)	九州龍谷短期大学 佐賀女子短期大学 西九州大学短期大学部
佐 賀 県 (2)	佐賀大学 西九州大学	千 葉 県 (8)	植草学園短期大学 昭和学院短期大学 聖徳大学短期大学部 清和大学短期大学部 千葉敬愛短期大学 千葉経済大学短期大学部 千葉明德短期大学 東京経営短期大学	大 分 県 (5)	大分県立芸術文化短期大学 別府大学短期大学部 別府溝部学園短期大学 大分短期大学 東九州短期大学
長 崎 県 (3)	長崎大学 長崎県立大学 長崎純心大学	東 京 都 (4)	上野学園大学短期大学部 自由が丘産能短期大学 東京家政大学短期大学部 文化学園大学短期大学部	宮 崎 県 (2)	南九州短期大学 宮崎学園短期大学
熊 本 県 (4)	熊本大学 熊本学園大学 熊本保健科学大学 崇城大学	新 潟 県 (1)	新潟工業短期大学	鹿 児 島 県 (1)	鹿児島女子短期大学
大 分 県 (5)	大分大学 日本文理大学	富 山 県 (1)	富山福祉短期大学	沖 縄 県 (2)	沖縄キリスト教短期大学 沖縄女子短期大学
		石 川 県 (4)	金沢学院短期大学 金城大学短期大学部 金沢星稜大学女子短期大学部 北陸学院大学短期大学部	○高等専門学校 (16校)	
		福 井 県 (1)	仁愛女子短期大学	岩 手 県 (1)	一関工業高等専門学校
		山 梨 県 (1)	山梨学院短期大学	宮 城 県 (1)	仙台高等専門学校(広瀬キャンパス) 仙台高等専門学校(名取キャンパス)
		長 野 県 (1)	松本大学松商短期大学部	山 形 県 (1)	鶴岡工業高等専門学校
		岐 阜 県 (11)	岐阜市立女子短期大学 大垣女子短期大学 岐阜聖徳学園大学短期大学部 岐阜保健大学短期大学部 正眼短期大学 高山自動車短期大学 中部学院大学短期大学部 東海学院大学短期大学部 中日本自動車短期大学	福 島 県 (1)	福島工業高等専門学校
				茨 城 県 (1)	茨城工業高等専門学校
				栃 木 県 (1)	小山工業高等専門学校
				群 馬 県 (1)	群馬工業高等専門学校
				石 川 県 (1)	石川工業高等専門学校
				福 井 県 (1)	福井工業高等専門学校
				岐 阜 県 (1)	岐阜工業高等専門学校
				三 重 県 (1)	鈴鹿工業高等専門学校
				兵 庫 県 (1)	明石工業高等専門学校
				広 島 県 (1)	呉工業高等専門学校
				山 口 県 (1)	宇部工業高等専門学校
				大 分 県 (1)	大分工業高等専門学校
				宮 崎 県 (1)	都城工業高等専門学校
				○大学院 (11校)	
				富 山 県 (1)	富山県立大学大学院
				石 川 県 (1)	北陸先端科学技術大学院大学
				長 野 県 (1)	佐久大学大学院
				岐 阜 県 (1)	岐阜女子大学大学院
				愛 知 県 (2)	中京大学大学院 豊橋創造大学大学院
				京 都 府 (1)	龍谷大学大学院
				大 阪 府 (1)	森ノ宮大学大学院
				島 根 県 (1)	島根県立大学大学院
				岡 山 県 (1)	美作大学大学院
				広 島 県 (1)	広島文化学園大学大学院

2022年度開設授業科目一覧

TV：テレビ科目 R：ラジオ科目 OL：オンライン科目

※各科目の詳細は、最新の『授業科目案内』をご確認ください。

※「TV※」は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。

○教養学部

区分	科目名	形式	区分	科目名	形式	区分	科目名	形式	
一般 科目 基盤 科目	運動と健康('22)	TV	専 門 生 活 科 と 福 祉 社 会	基礎看護学('16)	TV	心 理 科 と 教 育	司法・犯罪心理学('20)	R	
	遠隔学習のためのパソコン活用('21)	TV		公衆衛生('19)	R		社会・集団・家族心理学('20)	TV	
	演習初歩からの数学('20)	OL		高齢期の生活変動と社会的方策('19)	R		社会教育経営実践論('22)	TV※	
	国際理解のために('19)	R		子どもの人権をどうまもるのが('21)	TV		生涯学習支援の理論と実践('22)	TV※	
	子育て支援・法と政策を学ぶ('20)	OL		コミュニティがつなぐ安全・安心('20)	TV		生涯学習を考える('17)	OL	
	自然科学はじめの一步('22)	TV		今日のメンタルヘルス('19)	TV		障害者・障害児心理学('21)	R	
	市民自治の知識と実践('21)	R		災害看護学・国際看護学('20)	TV		神経・生理心理学('22)	TV	
	社会と産業の倫理('21)	R		在宅看護論('17)	TV		心理カウンセリング序説('21)	TV	
	小学校外国語教育教授基礎論('17)	OL		社会福祉実践とは何か('22)	R		心理学研究法('20)	TV	
	情報学へのとびら('22)	TV		社会保障の国際動向と日本の課題('19)	TV		心理学統計法('21)	TV	
	初歩からの数学('18)	TV		食と健康('18)	TV		心理職の専門性('20)	R	
	地理空間情報の基礎と活用('22)	TV		食の安全('21)	TV		心理的アセスメント('20)	R	
	データサイエンス基礎から応用('22)	OL		女性のキャリアデザインの展開('17)	OL		心理臨床と身体の病('16)	TV	
	デジタル社会における心得('22)	OL		人口減少社会の構想('17)	TV		心理臨床における法・倫理・制度('21)	R	
	デジタル社会のデータリテラシー('22)	OL		生活環境と情報認知('20)	TV		精神分析とユング心理学('17)	R	
	日本語アカデミックライティング('22)	TV※		精神疾患とその治療('20)	R		地域コミュニティと教育('18)	TV	
	日本語リテラシー('21)	TV		ソーシャルシティ('17)	TV		知覚・認知心理学('19)	TV	
	日本語リテラシー演習('18)	OL		地域福祉の課題と展望('22)	TV		知的障害教育総論('20)	R	
	身近な統計('18)	TV		認知症と生きる('21)	TV		中高年の心理臨床('20)	R	
	問題解決の進め方('19)	TV		ライフステージと社会保障('20)	R		道徳教育論('21)	R	
	英語で「道」を語る('21)	TV		リスクコミュニケーションの現在('18)	R		特別支援教育基礎論('20)	R	
	英語で読む大統領演説('20)	TV		リスク社会の家族変動('20)	R		特別支援教育総論('19)	R	
	看護・医療の英語('19)	OL		リハビリテーション('19)	R		日本の教職論('22)	TV※	
	韓国語I('20)	TV		死生学のフィールド('18)	R		乳幼児・児童の心理臨床('17)	TV	
	韓国語II('20)	R		社会福祉と法('20)	R		乳幼児の保育・教育('21)	R	
	教養で読む英語('19)	OL		地域包括ケアシステムと在宅医療('18)	OL		認知行動療法('20)	TV	
	グローバル時代の英語('22)	R		レジリエンスの諸相('18)	TV		福祉心理学('21)	R	
初歩のロシア語('22)	R	学校と社会を考える('17)	OL	幼児教育の指導法('22)	R				
中国語I('18)	TV	キャリアコンサルティング概説('20)	OL	幼児理解の理論及び方法('15)	OL				
中国語II('18)	R	教育・学校心理学('20)	TV	臨床心理学概論('20)	TV				
ドイツ語I('19)	TV	教育社会学概論('19)	TV	色と形を探究する('17)	TV				
ドイツ語II('19)	R	現代教育入門('21)	R	新しい時代の技術者倫理('15)	TV				
ビートルズ de 英文法('21)	R	心理学概論('18)	TV	環境問題のとらえ方と解決方法('17)	R				
フランス語I('18)	TV	心理と教育へのいざない('18)	R	技術経営の考え方('17)	R				
フランス語II('18)	R	戦後日本教育史('18)	R	グローバル化時代の日本国憲法('19)	TV				
各コース			導 入 科 目	発達科学の先人たち('16)	R	入 科 目	経営学概論('18)	R	
生 活 と 福 祉 社 会	導 入 科 目	感染症と生体防御('18)		R	発達心理学概論('17)		R	経済社会を考える('19)	R
		がんとともに生きる('18)		OL	SDGsと教育('22)		OL	現代の会計('20)	TV
		がんを知る('16)		OL	学習・言語心理学('21)		TV	社会学概論('21)	TV
		暮らしに活かす不動産学('22)		TV	学校図書館サービス論('21)		TV※	社会調査の基礎('19)	TV
		健康長寿のためのスポーツロジー('19)		TV	学校と法('20)		R	社会統計学入門('18)	R
		健康と社会('17)		R	学校リスク論('22)		TV	政治学入門('22)	R
		健康への力の探究('19)		R	カリキュラムと学習過程('16)		R	法学入門('18)	R
		疾病の回復を促進する薬('21)		TV	感情・人格心理学('21)		R	アジア産業論('17)	R
		疾病の成立と回復促進('21)		TV	危機の心理学('17)		TV	椅子クラフツ文化の社会経済学('20)	OL
		社会福祉-新しい地平を拓く('22)		TV	教育課程の意義及び編成の方法('15)		OL	NPO・NGOの世界('21)	R
		循環器の健康科学('20)		OL	教育調査の基礎('20)		TV	家族と高齢社会の法('17)	TV
		人体の構造と機能('22)		TV	教育の行政・政治・経営('19)		R	環境の可視化('15)	TV
		睡眠と健康('21)		R	現代社会の児童生徒指導('17)		TV	管理会計('22)	R
		生活環境情報の表現-GIS入門('20)		OL	現代の家庭教育('18)		R	行政学概説('20)	R
		生活経済学('20)		R	交通心理学('17)		TV	行政法('22)	R
		人間にとって貧困とは何か('19)		R	子ども・青年の文化と教育('17)		R	金融と社会('20)	TV
		家族問題と家族支援('20)		R	錯覚の科学('20)		TV	グローバル化と日本のものづくり('19)	TV
		看護学概説('22)		R	産業・組織心理学('20)		R	グローバル経済史('18)	TV
		看護管理と医療安全('18)		R	思春期・青年期の心理臨床('19)		R	経営情報学入門('19)	TV
					肢体不自由児の教育('20)		TV	刑法と生命('21)	R

放送大学の科目区分

基盤科目
放送大学のすべてのコースにおける学習するために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身に付けることを目標とした科目です。

導入科目
各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識及びそこで求められる基礎的な能力を身に付けることを目標とした科目です。

専門科目
導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身に付けることを目標とした科目です。

総合科目
学際的な知識、分析手法を身に付け、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通して、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うことを目標とした科目です。

区分	科目名	メディア	区分	科目名	メディア	区分	科目名	メディア		
専 門 科 目	現代経済学('19)	TV	人 専 門 科 目	原初から／への思索('22)	R	情 報 科 目	データ構造とプログラミング('18)	TV		
	現代日本の政治('19)	TV		現代の危機と哲学('18)	R		データの分析と知識発見('20)	TV		
	現代の国際政治('22)	TV		現代フランス哲学に学ぶ('17)	R		データベース('17)	TV		
	現代の内部監査('22)	TV		考古学('18)	TV		デジタル情報の処理と認識('22)	OL		
	現代東アジアの政治と社会('20)	R		西洋音楽史('21)	R		身近なネットワークサービス('20)	TV		
	国際経営('19)	R		西洋芸術の歴史と理論('16)	TV		メディアと知的財産('16)	OL		
	国際法('19)	R		世界文学の古典を読む('20)	R		メディア論('22)	TV		
	雇用社会と法('21)	TV		中国と東部ユーラシアの歴史('20)	TV		問題解決の数理('21)	TV※		
	災害社会学('20)	TV		東南アジアの歴史('18)	R		ユーザ調査法('20)	TV		
	財政と現代の経済社会('19)	TV		都市から見るヨーロッパ史('21)	TV		AIシステムと人・社会との関係('20)	R		
	サプライチェーン・マネジメント('21)	TV		日本の近世('20)	R		情報化社会と国際ボランティア('19)	TV		
	市民生活と裁判('22)	TV		日本の古代中世('17)	TV		情報技術が拓く人間理解('20)	TV		
	住まいの環境デザイン('18)	TV		日本美術史の近代とその外部('18)	TV	演習微分積分('19)	OL			
	大学マネジメント論('20)	R		日本仏教を捉え直す('18)	R	化学結合論—分子の構造と機能('17)	TV			
	地球温暖化と社会イノベーション('18)	TV		日本文学の名作を読む('17)	R	現代を生きるための化学('22)	R			
	中東の政治('20)	TV		博物館教育論('22)	R	初歩からの宇宙の科学('17)	TV			
	著作権法('22)	R		博物館経営論('19)	R	初歩からの化学('18)	TV			
	都市と地域の社会学('18)	R		博物館情報・メディア論('18)	TV	初歩からの生物学('18)	TV			
	都市と農山村からみる身近な経済('18)	R		博物館資料保存論('19)	TV	初歩からの物理('22)	TV			
	日本政治外交史('19)	TV		博物館資料論('18)	OL	生物環境の科学('16)	TV			
	日本政治思想史('21)	R		博物館展示論('16)	TV	ダイナミックな地球('21)	TV			
	ファイナンス入門('17)	TV		フィールドワークと民族誌('17)	OL	入門線型代数('19)	TV			
	フードシステムと日本農業('22)	R		舞台芸術の魅力('17)	TV	入門微分積分('22)	TV			
	簿記入門('22)	R		文学・芸術・武道にみる日本文化('19)	TV	物理と化学のための数学('21)	OL			
マーケティング('21)	TV	文学批評への招待('18)	R	物理の世界('17)	TV					
民法('22)	R	ヨーロッパ文学の読み方—近代篇('19)	R	宇宙の誕生と進化('19)	TV					
ヨーロッパ政治史('20)	R	音を追究する('16)	R	エントロピーからはじめる熱力学('20)	R					
緑地環境の計画('21)	OL	Rで学ぶ確率統計('21)	OL	解析入門('18)	R					
海からみた産業と日本('22)	R	計算の科学と手引き('19)	TV	化学反応論—分子の変化と機能('17)	TV					
エネルギーと社会('19)	TV	情報・メディアと法('18)	R	植物の科学('21)	TV					
開発経済学：アジアの農村から('20)	TV	情報ネットワーク('18)	OL	数学の歴史('19)	TV					
環境と社会('21)	R	情報理論とデジタル表現('19)	TV	正多面体と素数('21)	TV					
空間と政治('22)	TV	日常生活のデジタルメディア('22)	TV	生物の進化と多様化の科学('17)	TV					
新時代の組織経営と働き方('20)	TV	表計算プログラミングの基礎('21)	OL	生命分子と細胞の科学('19)	TV					
世界の中の日本外交('21)	TV	アルゴリズムとプログラミング('20)	R	線型代数学('17)	R					
導 入 科 目	新しい言語学('18)	R	情 報 科 目	Webのしくみと応用('19)	TV	自 然 と 環 境 専 門 科 目	太陽と太陽系の科学('18)	TV		
	漢文の読み方('19)	R		映像コンテンツの制作技術('20)	TV		力と運動の物理('19)	TV		
	コミュニケーション学入門('19)	R		記号論理学('14)	TV		力と運動の物理演習('21)	OL		
	人文地理学からみる世界('22)	TV		教育のためのICT活用('22)	TV		地球と環境の探究('20)	OL		
	西洋哲学の根源('22)	R		コンピュータグラフィックス('22)	OL		統計学('19)	R		
	世界文学への招待('22)	TV		コンピュータ通信概論('20)	R		動物の科学('15)	TV		
	総合人類学としてのヒト学('18)	R		コンピュータとソフトウェア('18)	TV		はじめての気象学('21)	TV		
	哲学・思想を今考える('18)	R		コンピュータと人間の接点('18)	TV		場と時間空間の物理('20)	TV		
	日本近現代史('21)	R		コンピュータの動作と管理('17)	TV		微分方程式('17)	TV		
	日本語学入門('20)	TV		コンピュータビジョン('22)	OL		物理演習('16)	OL		
	日本文学と和歌('21)	R		C言語基礎演習('20)	OL		量子化学('19)	TV		
文 化 科 目	日本文学における古典と近代('18)	R	情 報 科 目	自然言語処理('19)	R	総 合 科 目	量子物理学('21)	TV		
	博物館概論('19)	TV		Javaプログラミングの基礎('16)	OL		暮らしに役立つバイオサイエンス('21)	TV		
	博物館で学ぶ文化人類学の基礎('20)	OL		小学校プログラミング教育概論('21)	OL		全コース開設	区分	科目名	メディア
	歴史のなかの人間('22)	TV		情報化社会におけるメディア教育('20)	R			看護師資格取得	小児看護学('22)	TV
	「人新世」時代の文化人類学('20)	TV		情報社会のユニバーサルデザイン('19)	TV			成人看護学('18)	R	
	『方丈記』と『徒然草』('18)	TV		情報セキュリティ概論('22)	TV			精神看護学('19)	TV	
	アメリカの芸術と文化('19)	TV		情報デザイン('21)	TV			母性看護学('20)	TV	
	韓国朝鮮の歴史と文化('21)	R		情報ネットワークセキュリティ('19)	OL			老年看護学('19)	R	
	近現代ヨーロッパの歴史('22)	TV		数値の処理と数値解析('22)	R					
	言語研究法('19)	OL		数理最適化法演習('20)	OL					

TV：テレビ科目 R：ラジオ科目 OL：オンライン科目

※各科目の詳細は、最新の「授業科目案内」をご確認ください。

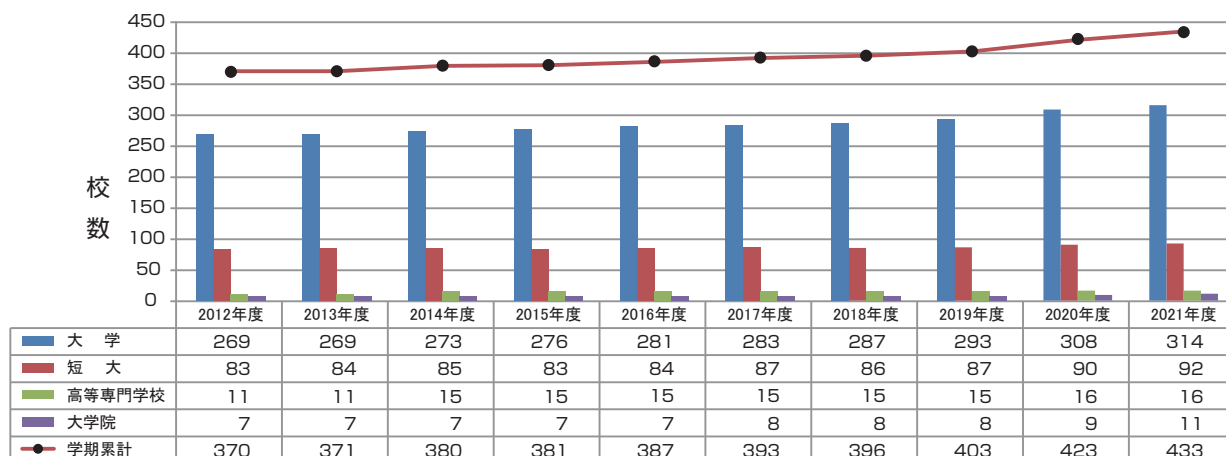
※「TV※」は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。

○大学院文化科学研究科文化科学専攻（修士課程）

区分	科目名	メディア
生活健康科学プログラム	医療安全学特論（'16）	OL
	家族政策研究（'21）	R
	健康・スポーツ科学研究（'21）	R
	コミュニティヘルスケア研究（'19）	R
	疾病・臨床病態概論（'17）	OL
	食健康科学（'21）	OL
	スポーツ・健康医科学（'19）	R
	生活環境情報学基礎演習（'18）	OL
	生活変動と社会福祉（'18）	R
	生活リスクマネジメント（'17）	R
	精神医学特論（'22）	R
	統合医療安全・特定行為実践特論（'19）	OL
	統合臨床病態生理学・疾病概論（'19）	OL
	特定行為共通科目統合演習（'17）	OL
	特定行為実践特論（'17）	OL
	フィジカルアセスメント特論（'16）	OL
	福祉政策と人権（'22）	R
	ヘルスリサーチの方法論（'19）	R
	リスク社会における市民参加（'21）	R
	臨床推論（'16）	OL
臨床病態生理学特論（'17）	OL	
臨床薬理学特論（'17）	OL	
人間発達科学プログラム	海外の教育改革（'21）	R
	カリキュラムの理論と実践（'21）	R
	教育行政と学校経営（'20）	R
	教育心理学特論（'18）	R
	教育文化の社会学（'17）	R
	教育老年学（'22）	R
	現代社会心理学特論（'15）	R
	成人の発達と学習（'19）	R
	成人発達心理学（'17）	R
	道德教育の理念と実践（'20）	R
臨床心理学プログラム	学校臨床心理学特論（'21）	TV
	司法矯正・犯罪心理学特論（'20）	R
	障害児・障害者心理学特論（'19）	R
	心理・教育統計法特論（'21）	R
	発達心理学特論（'21）	TV
	保健医療心理学特論（'22）	TV
	臨床心理学研究法特論（'18）	R
	臨床心理学特論（'17）	R
	臨床心理地域援助特論（'21）	R
	臨床心理面接特論Ⅰ（'19）	R
	臨床心理面接特論Ⅱ（'19）	R

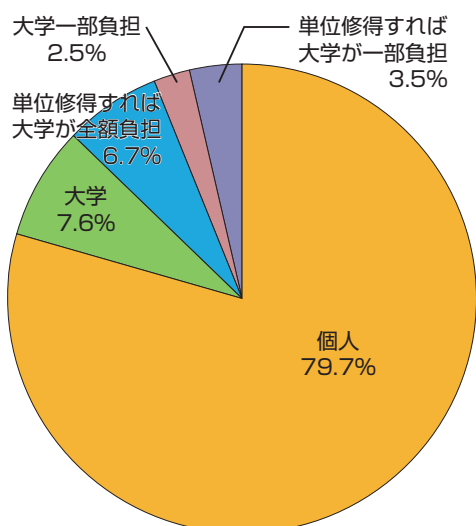
区分	科目名	メディア
社会経営科学プログラム	イランとアメリカ（'17）	OL
	環境工学（'19）	OL
	経済政策（'22）	R
	現実と向き合う政治理論（'22）	R
	公共政策（'22）	R
	実践的都市景観形成論（'19）	OL
	社会的協力論（'20）	R
	人的資源管理（'22）	R
	地域産業の発展と主体形成（'20）	R
	統合イノベーション制度研究（'21）	OL
人文学プログラム	都市社会構造論（'18）	R
	保険法（'22）	OL
	異文化との出会い（'22）	R
	西洋中世史（'21）	R
	朝鮮の歴史と社会－近世近代（'20）	R
	日本史史料を読む（'21）	R
	日本文学の研究史（'21）	R
	日本文化と思想の展開－内と外と（'22）	R
	美学・芸術学研究（'19）	R
	モダニズムの文学と文化（'21）	R
情報学プログラム	音楽・情報・脳（'17）	R
	コンピューティング（'19）	R
	情報学の技術（'18）	R
	情報デザイン特論（'22）	TV※
	ソフトウェア工学（'19）	R
	知財制度論（'20）	R
自然環境科学プログラム	マルチメディア情報処理（'20）	R
	宇宙、地球、そして人類（'18）	OL
	計算で紐解く物質科学・環境科学（'18）	OL
	計算論（'16）	R
	現代生物科学（'18）	OL
	現代物理の展望（'19）	R
	数理科学（'21）	TV※
	生物の種組成データの分析法（'16）	OL
先端技術のための現代物理学（'18）	OL	
野外生物調査法（'19）	OL	

■ 単位互換協定締結校数の推移

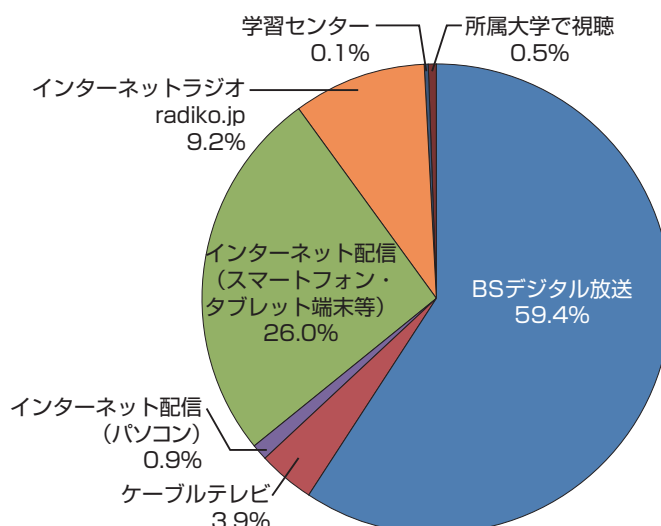


※各年度ともに11月1日時点

■ 授業料負担方法 (2021年度)



■ 視聴方法 (2020年度)



※2018年10月末をもちまして、地上放送は停波いたしました。

■ 特別聴講学生人気科目ランキング (2021年度)

順位	科目名	メディア	科目区分	
1	食と健康 ('18)	テレビ	専門科目	生活と福祉
2	韓国語 I ('20)	テレビ	基盤科目	外国語
3	初歩からの物理 ('16)	テレビ	導入科目	自然と環境
4	生活環境と情報認知 ('20)	テレビ	専門科目	生活と福祉
5	宇宙の誕生と進化 ('19)	テレビ	専門科目	自然と環境
6	初歩からの宇宙の科学 ('17)	テレビ	導入科目	自然と環境
7	人口減少社会の構想 ('17)	テレビ	専門科目	生活と福祉
8	物質・材料工学と社会 ('17)	テレビ	専門科目	社会と産業
9	自然科学はじめの一步 ('15)	テレビ	基盤科目	—
10	中国語 I ('18)	テレビ	基盤科目	外国語

7. Q&A

○ 協定全般について

Q . 1 学部間の協定と大学院間の協定に何か違いはありますか。

- A. 手続き上の違いはありません。放送大学では単位互換協定を締結する場合、学部は学部（短期大学を含む。）と、大学院は大学院と、それぞれ協定を締結し、双方の学長間で調印の上、文書を取り交わすこととしています。学生の受け入れについては協定書に明記していますが、学部及び短期大学に在学する学生については本学学部の授業科目を、大学院に在学する学生については本学大学院の授業科目を、それぞれ履修することとなります。

※学部間の協定に基づいて本学大学院に出願することや、大学院間の協定に基づいて本学学部に出願することはできませんのでご注意願います。

Q . 2 高等専門学校が単位互換協定を締結する場合に注意する点がありますか。

- A. 高等専門学校が本学との単位互換を実施する場合は、本学学部と協定を締結することになります。本学が受け入れる学生は高等専門学校 4 年次、5 年次及び専攻科学生となります。それ以外は学部間の単位互換協定と違いはありません。

Q . 3 授業料の額及びその負担方法はどのようになっているのですか。

- A. 授業料は、学部では 1 科目（2 単位）について 11,000 円、または 1 科目（1 単位）について 5,500 円、大学院では 1 科目（2 単位）について 22,000 円を徴収することとしています。なお、教材費など授業料以外の経費の負担は一切不要です。

授業料の負担方法は、学生にとって単位互換制度を出来るだけ利用しやすくし、授業料の二重払いにならない為にも、貴学での負担をご検討していただくようお願いしています。

※負担方法の例

- ① 全額大学等で負担する。
- ② 一定割合を大学等で負担する。
(教材費相当分のみ学生負担とし、残額は大学等が負担するなど。)
- ③ 出願時は学生が負担し、単位修得すれば大学等が返金をする。
(単位互換協定締結校の授業料負担方法の内訳につきましては P17 をご参照ください。)

○ 単位互換の科目について

Q . 4 単位互換に利用できる放送大学の科目はどのような科目ですか。

- A. 通常学期に開設しているすべての放送授業・オンライン授業の中から選択していただけます。2022 年度の開設授業科目については P14 ~ 16 をご覧ください。

Q . 5 放送授業はどのように視聴すれば良いのですか。

- A. 放送授業は、BS 放送、ケーブルテレビ、放送大学の実施するインターネット配信、インターネットラジオ radiko.jp、学習センターでの視聴等によりご覧いただけます。視聴方法の詳細は、P9 をご参照ください。

また、単位互換校へは放送教材の DVD・CD の無料貸出制度があります。特定の時間に集団で視聴する形態で利用している大学等でご活用いただいています。

Q . 6 放送授業の講義内容を詳しく知るにはどうすれば良いのでしょうか。

- A. 出願時期には、次学期の開設科目の概要・試験時間等を記載した授業科目案内冊子等の資料を本学より送付いたします。

より詳細な授業の内容につきましては、本学ホームページにシラバス（講義概要）を掲載していますのでご参照ください。

放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp> 内左列「授業科目（シラバス）」

○ 単位について

Q . 7 放送大学の単位の計算方法はどのようになっていますか。

A. 放送授業科目について

放送授業と印刷教材による授業から成り立っており、1科目は2単位としています。単位数については、「大学通信教育設置基準」に基づき、1単位の履修時間を45時間とし、次のように計算しています。

- ① 印刷教材による授業については、45時間の学修を必要とする印刷教材等の学修をもって1単位とします。
- ② 放送授業については、1時間の放送授業15回に対して、各回2時間の準備のための学修を必要とするものとし、計45時間の学習をもって1単位とします。

オンライン授業科目について

メディアを利用して行う授業から成り立っており、1科目は時間数に応じ、1単位(8コマ)もしくは2単位(15コマ)としています。1単位を構成する時間数については、「大学通信教育設置基準」に基づき、15時間の授業時間に対して、30時間の事前事後学習を必要とするものとし、計45時間をもって1単位とします。

Q . 8 単位の認定はどのように行うのですか。

- A. 放送大学は、特別聴講学生の成績を本人と所属学長に通知しますので、これに基づいて各大学等では、協定で定めた単位数の範囲内で(設置基準上の上限は、大学の場合60単位、短期大学の場合30単位、高等専門学校の場合60単位、大学院の場合15単位)、放送大学で修得した単位を各大学等の単位として認定することになります。

Q . 9 単位認定試験の成績評価はどのようになっていますか。

- A. 単位認定試験の成績はⒶ(100点～90点)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点～50点)及びE(49点～0点)の6種類の評語をもって表し、Ⓐ、A、B及びCを合格とし、D及びEを不合格としています。

○ 試験について

Q . 10 通信指導及び単位認定試験は1回しか受けられないのですか。

- A. 放送授業の場合、通信指導、単位認定試験とも次の学期に限り再提出、再試験を受けることができます。再試験に際して手続きは特段必要ありません。通信指導が未提出の場合は通信指導が、単位認定試験が不合格の場合は受験票が、次の学期に自動的に送付されます。なお、大学等が希望する場合、再試験を不可とする設定も可能です。

オンライン授業の場合、一部科目を除き通信指導及び単位認定試験は行いません。よって、再試験もありません。単位を修得できなかった場合は、再度、出願が必要になります。なお、オンライン授業配信期間中は、復習のために授業の一部を視聴することができます。

Q . 11 単位認定試験の時期と実施方法はどのようになっていますか。

- A. 1学期の単位認定試験は7月下旬、2学期の単位認定試験は1月下旬となっています。なお、試験の日程は、学生募集の時期に決定され、冊子「授業科目案内」に掲載していますので、履修科目を選択するに当たって参考にしてください。また、2022年度における単位認定試験は、Web単位認定試験システムを利用したオンライン受験方式にて実施する予定です。詳しくは、連携協力係までお問い合わせください。

8. 学習センターのご案内

特別聴講学生は、全国 57 カ所の学習センター・サテライトスペースを利用することができます。

■図書の利用

学生は図書を閲覧したり、貸出しを受けることができます。
 ※貸出しは放送大学附属図書館（千葉県）で一括して行っています。

■放送授業の再視聴

放送授業を視聴できなかった場合や繰り返し学習したい場合は、都合のよい日時に視聴することができます。

■土曜日・日曜日の利用

学習センターは、土曜日・日曜日にも開いていますので、平日が忙しい方でも利用することができます。（月曜・祝日・年末年始は休）

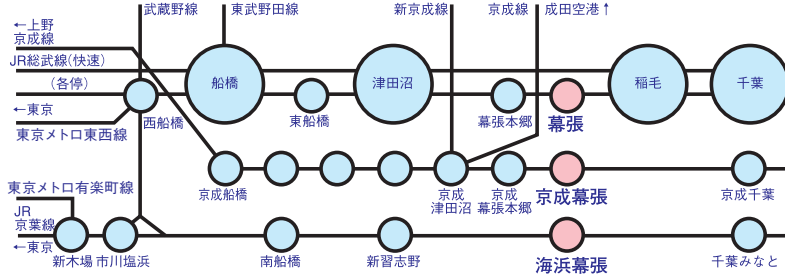
学習センター・サテライトスペース

北海道学習センター	〒060-0817	北海道札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学札幌キャンパス情報教育館5・6階)	☎011-736-6318
旭川サテライトスペース	〒070-0044	北海道旭川市常盤公園(旭川市常盤館内)	☎0166-22-2627
青森学習センター	〒036-8561	青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階(弘前大学文京町地区内)	☎0172-38-0500
八戸サテライトスペース	〒039-1102	青森県八戸市一番町1-9-22(ユートリー4階)	☎0178-70-1663
岩手学習センター	〒020-8550	岩手県盛岡市上田3-18-8(岩手大学図書館3・4階)	☎019-653-7414
宮城学習センター	〒980-8577	宮城県仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平キャンパス内)	☎022-224-0651
秋田学習センター	〒010-8502	秋田県秋田市手形学園町1-1(秋田大学手形キャンパス地域創生センター2号館4階)	☎018-831-1997
山形学習センター	〒990-8580	山形県山形市城南町1-1-1(霞城セントラル10階)	☎023-646-8836
福島学習センター	〒963-8025	福島県郡山市桑野1-22-21	☎024-921-7471
いわきサテライトスペース	〒970-8023	福島県いわき市平鎌田字寿金沢22-1(東日本国際大学5号館5階)	☎0246-22-7318
茨城学習センター	〒310-0056	茨城県水戸市文京2-1-1(茨城大学水戸キャンパス環境リサーチラボラトリー2・3階)	☎043-298-0683
栃木学習センター	〒321-0943	栃木県宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス附属図書館1・2階)	☎028-632-0572
群馬学習センター	〒371-0032	群馬県前橋市若宮町1-13-2	☎027-230-1085
埼玉学習センター	〒330-0853	埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2(JACK大宮8・9・10階)	☎048-650-2611
千葉学習センター	〒261-8586	千葉県千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)	☎043-298-4367
東京渋谷学習センター	〒150-0043	東京都渋谷区道玄坂1-10-7(五島育英会ビル1階)	☎03-5428-3011
東京文京学習センター	〒112-0012	東京都文京区大塚3-29-1(筑波大学東京キャンパス文京校舎内)	☎03-5395-8688
東京足立学習センター	〒120-0034	東京都足立区千住5-13-5(学びピア216階)	☎03-5244-2760
東京多摩学習センター	〒187-0045	東京都小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス国際共同研究センター3・4階)	☎042-349-3467
神奈川学習センター	〒232-8510	神奈川県横浜市南区大岡2-31-1	☎045-710-1910
新潟学習センター	〒951-8122	新潟県新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町キャンパス医学部図書館4~6階)	☎025-228-2651
富山学習センター	〒939-0311	富山県射水市黒河5180(富山県立大学計算機センター3階)	☎0766-56-9230
石川学習センター	〒921-8812	石川県野々市市扇が丘7-1(金沢工業大学扇が丘キャンパス9号館)	☎076-246-4029
福井学習センター	〒910-0858	福井県福井市手寄1丁目4-1(AOSSA7階)	☎0776-22-6361
山梨学習センター	〒400-0016	山梨県甲府市武田4-4-37(山梨大学甲府キャンパス総合研究棟Y号館隣接建物内)	☎055-251-2238
長野学習センター	〒392-0004	長野県諏訪市諏訪1丁目(アーク諏訪3階)	☎0266-58-2332
岐阜学習センター	〒500-8384	岐阜県岐阜市数田南5-14-53(OKBふれあい会館第2棟2階)	☎058-273-9614
静岡学習センター	〒411-0033	静岡県三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校2階)	☎055-989-1253
浜松サテライトスペース	〒430-0916	静岡県浜松市中区早馬町2-1(クリエート浜松2・4階)	☎053-453-3303
愛知学習センター	〒466-0825	愛知県名古屋市中区八事本町101-2(中京大学センタービル4階)	☎052-831-1771
三重学習センター	〒514-0061	三重県津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター生涯学習棟4階)	☎059-233-1170
滋賀学習センター	〒520-2123	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階)	☎077-545-0362
京都学習センター	〒600-8216	京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939(キャンパスプラザ京都3階)	☎075-371-3001
大阪学習センター	〒543-0054	大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス中央館内6・7階)	☎06-6773-6328
兵庫学習センター	〒657-8501	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台第1キャンパスアカデミア館6・7階)	☎078-805-0052
姫路サテライトスペース	〒670-0012	兵庫県姫路市本町68-290(イグレヒめじ地下2階)	☎079-284-5788
奈良学習センター	〒630-8589	奈良県奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター3階)	☎0742-20-7870
和歌山学習センター	〒641-0051	和歌山県和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)	☎073-431-0360
鳥取学習センター	〒680-0845	鳥取県鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅前庁舎5階)	☎0857-37-2351
島根学習センター	〒690-0061	島根県松江市白濁本町43(スティックビル4階)	☎0852-28-5500
岡山学習センター	〒700-0082	岡山県岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学津島キャンパス文化科学系総合研究棟5・6階)	☎086-254-9240
広島学習センター	〒730-0053	広島県広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田キャンパス東千田総合校舎3・4階)	☎082-247-4030
福山サテライトスペース	〒720-0812	広島県福山市霞町1-10-1(まなびの館ロースコム3階)	☎084-991-2011
山口学習センター	〒753-0841	山口県山口市吉田1677-1(山口大学吉田キャンパス学生会館内)	☎083-928-2501
徳島学習センター	〒770-0855	徳島県徳島市新蔵町2-24(徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階)	☎088-602-0151
香川学習センター	〒760-0016	香川県高松市幸町1-1(香川大学幸町北キャンパス研究交流棟7・8階)	☎087-837-9877
愛媛学習センター	〒790-0826	愛媛県松山市文京町3(愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンター棟3・4階)	☎089-923-8544
高知学習センター	〒780-8072	高知県高知市曙町2-5-1(高知大学朝倉キャンパスメディアの森内)	☎088-843-4864
福岡学習センター	〒816-0811	福岡県春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)	☎092-585-3033
北九州サテライトスペース	〒806-0021	福岡県北九州市八幡西区黒崎3-15-3(コムシティ3階)	☎093-645-3201
佐賀学習センター	〒840-0815	佐賀県佐賀市天神3-2-11(アバンセ4階)	☎0952-22-3308
長崎学習センター	〒852-8521	長崎県長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス中央図書館南隣)	☎095-813-1317
熊本学習センター	〒860-8555	熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2・3階)	☎096-341-0860
大分学習センター	〒874-8501	大分県別府市北石垣82(別府大学別府キャンパス39号館2階)	☎097-67-1191
宮崎学習センター	〒883-8510	宮崎県日向市本町11-11(日向市役所北隣)	☎0982-53-1893
鹿児島学習センター	〒892-8790	鹿児島県鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター西棟4階)	☎099-239-3811
沖縄学習センター	〒903-0129	沖縄県中頭郡西原町字千原1(琉球大学千原キャンパス地域国際学習センター棟4・5階)	☎098-895-5952



放送大学学園案内図

交通案内



1 電車利用

- J R 総武線幕張駅 } 下車
- 京成千葉線幕張駅 } 海岸方向へ1 km (徒歩15分)
- J R 京葉線海浜幕張駅 下車
- 北方向へ1 km (徒歩15分)

2 車利用 (東京方面から)

- 首都高速→京葉道路→幕張I.C.
- 幕張5丁目信号右折400m
- 首都高速→東関東自動車道→湾岸習志野I.C.
- 1 km (2つ目の信号左折)



お問い合わせ先

放送大学学園学務部連携教育課連携協力係

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

☎ 043 - 298 - 4256

✉ renkei@uj.ac.jp

放送大学は、日本全国津々浦々。

全国 57ヶ所のキャンパスであなたの学びをサポートします。



北海道(ヒグマ)



旭川サテライトスペース(旭山動物園)



青森(りんご)



八戸サテライトスペース(ウミネコ)



岩手(銀河鉄道)



宮城(七夕)



秋田(なまはげ)



山形(さくらんぼ)



福島(野口英世)



いわきサテライトスペース(フランス)



茨城(印籠)



栃木(いちご)



群馬(だるま)



埼玉(岩槻人形)



千葉(成田空港)



渋谷(ハチ公)



文京(東京ドーム)



足立(松尾芭蕉)



多摩(小平の丸ポスト)



神奈川(みなとみらい)



新潟(米俵)



富山(チューリップ)



石川(こじ灯籠)



福井(越前ガニ)



山梨(武田信玄)



長野(御柱祭)



岐阜(さるぼぼ)



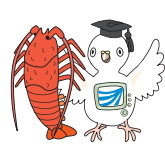
静岡(富士山)



浜松サテライトスペース(うなぎ)



愛知(シヤチホコ)



三重(伊勢エビ)



滋賀(琵琶湖と井伊直政)



京都(舞妓さん)



大阪(千成瓢箪)



兵庫(港)



姫路サテライトスペース(姫路城)



奈良(鹿)



和歌山(くじら)



鳥取(鳥取砂丘)



鳥根(どじょうすくい)



岡山(もも&シャインマスカット)



広島(牡蠣)



福山サテライトスペース(バラ園)



山口(ふぐ)



徳島(阿波踊り)



香川(うどん)



愛媛(みかん)



高知(坂本龍馬)



福岡(博多祇園山笠)



北九州サテライトスペース(小倉祇園太鼓)



佐賀(吉野ヶ里遺跡)



長崎(くんち)



熊本(熊本城)



大分(いちたけ)



宮崎(サーフィン)



鹿児島(桜島)



沖縄(守礼門)



放送大学

THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

〒261-8586

千葉県美浜区若葉 2-11

TEL 043-298-4256

Mail renkei@ouj.ac.jp

単位互換案内 2022 年度版

訂正とお詫び

「単位互換案内 2022 年度版」におきまして、一部誤りがございましたので、以下の通り、訂正してお詫び申し上げます。

2022 年度開設授業科目一覧

TV: テレビ科目 R: ラジオ
※各科目の詳細は、最新の「授業科目」※「TV※」は放送授業ですが、テレ

○教養学部

区分	科目名	対応	区分	科目名
一般 科目 基盤 科目	運動と健康 ('22)	TV	専 門 生 活 科 目	基礎看護学 ('16)
	遠隔学習のためのパソコン活用 ('21)	TV		公衆衛生 ('19)
	演習初歩からの数学 ('20)	OL		高齢期の生活変動と社会的
	国際理解のために ('19)	R		子どもの人権をどうまもるの
	子育て支援-法と政策を学ぶ ('20)	OL		コミュニティがつなぐ安全と
	自然科学(はじめの一歩 ('22)	TV		今日のメンタルヘルス ('1
	市民自治の知識と実践 ('21)	R		災害看護学・国際看護学
	社会と産業の倫理 ('21)	R		在宅看護論 ('17)
	小学校外国語教育教授基礎論 ('17)	OL		社会福祉実践とは何か ('2
	情報学へのとびら ('22)	TV		社会保障の国際動向と日本の
	初歩からの数学 ('18)	TV		食と健康 ('18)
	地理空間情報の基礎と活用 ('22)	TV		食の安全 ('21)
	データサイエンス基礎から応用 ('22)	OL		女性のキャリアデザインの展
	デジタル社会における心得 ('22)	OL		人口減少社会の構想 ('17)
	デジタル社会のデータリテラシー ('22)	OL		生活環境と情報認知 ('20)
	日本語アカデミックライティング ('22)	TV※		精神疾患とその治療 ('20)
	日本語リテラシー ('21)	TV		ソーシャルシティ ('17)
	日本語リテラシー演習 ('18)	OL		地域福祉の課題と展望 ('2
	身近な統計 ('18)	TV		認知症と生きる ('21)
	問題解決の進め方 ('19)	TV		ライフステージと社会保
	英語で「道」を語る ('21)	TV		リスクコミュニケーションの理
	英語で読む大統領演説 ('20)	TV		リスク社会の家族変動 ('2
看護・医療の英語 ('19)	OL	リハビリテーション ('19)		

訂正箇所

14 ページ「2022 年度開設授業科目一覧」
○教養学部 区分「基盤科目」

訂正前

- ① ~~データサイエンス基礎から応用 ('22)~~
- ② ~~デジタル社会における心得 ('22)~~
- ③ ~~デジタル社会のデータリテラシー ('22)~~



訂正後

正しくは、以下の科目名となります。

- ① データサイエンス・リテラシ導入 ('22)
- ② データサイエンス・リテラシ心得 ('22)
- ③ データサイエンス・リテラシ基礎 ('22)

以上となります。

「単位互換案内 2022 年度版」をご覧くださいの際は、上の記載にご注意くださいますよう、よろしく
お願いいたします。